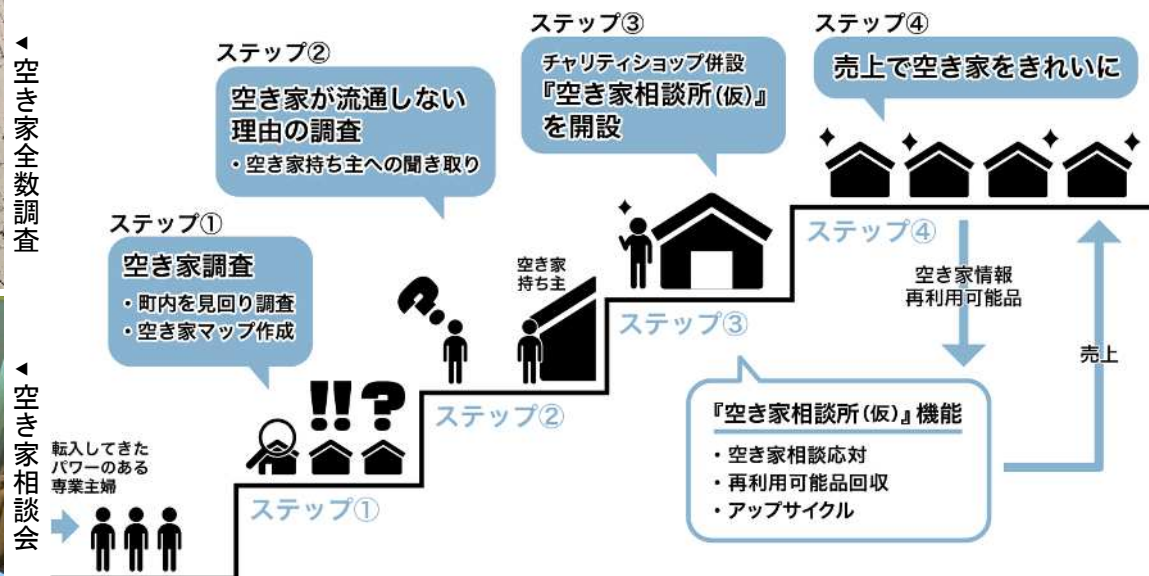


空き家が市場流通しにくい地域での潜在空き家調査と空き家管理のためのチャリティーショップ立ち上げ(合同会社Roof)

まちの課題	・空き家活用ニーズはあり、まちなかに空き家は散見されるが、市場流通していない・行政の設置する空き家バンクは登録が2件のみ。成約は0件。・転入者にはまちで活躍したい、まちのためになにかしたい専業主婦が多い。
目的	・空き家が流通しない理由の解明 ・チャリティーショップを併設した空き家相談所の開設 ・ショップの売上で空き家管理を実施し、まちの景観を維持。
取組内容	ステップ① 潜在空き家の全数調査 ステップ② 空き家が流通しない理由についての所有者調査 ステップ③ 空き家相談所(仮)の開設
成果	・空き家全数調査の実施: 空き家116軒、空き家予備軍280軒 ・空き家の所有者特性の把握: 空き家116軒の所有者特性を把握 ・空き家相談の開始: 週1回の空き家相談会を実施



空き家が市場流通しにくい地域での潜在空き家調査と空き家管理のためのチャリティーショップ立ち上げ(合同会社Roof)

ステップ① 潜在空き家の全数調査 ステップ② 所有者調査

住宅地図を利用して、播磨町の全域を目視による空き家調査を実施した。

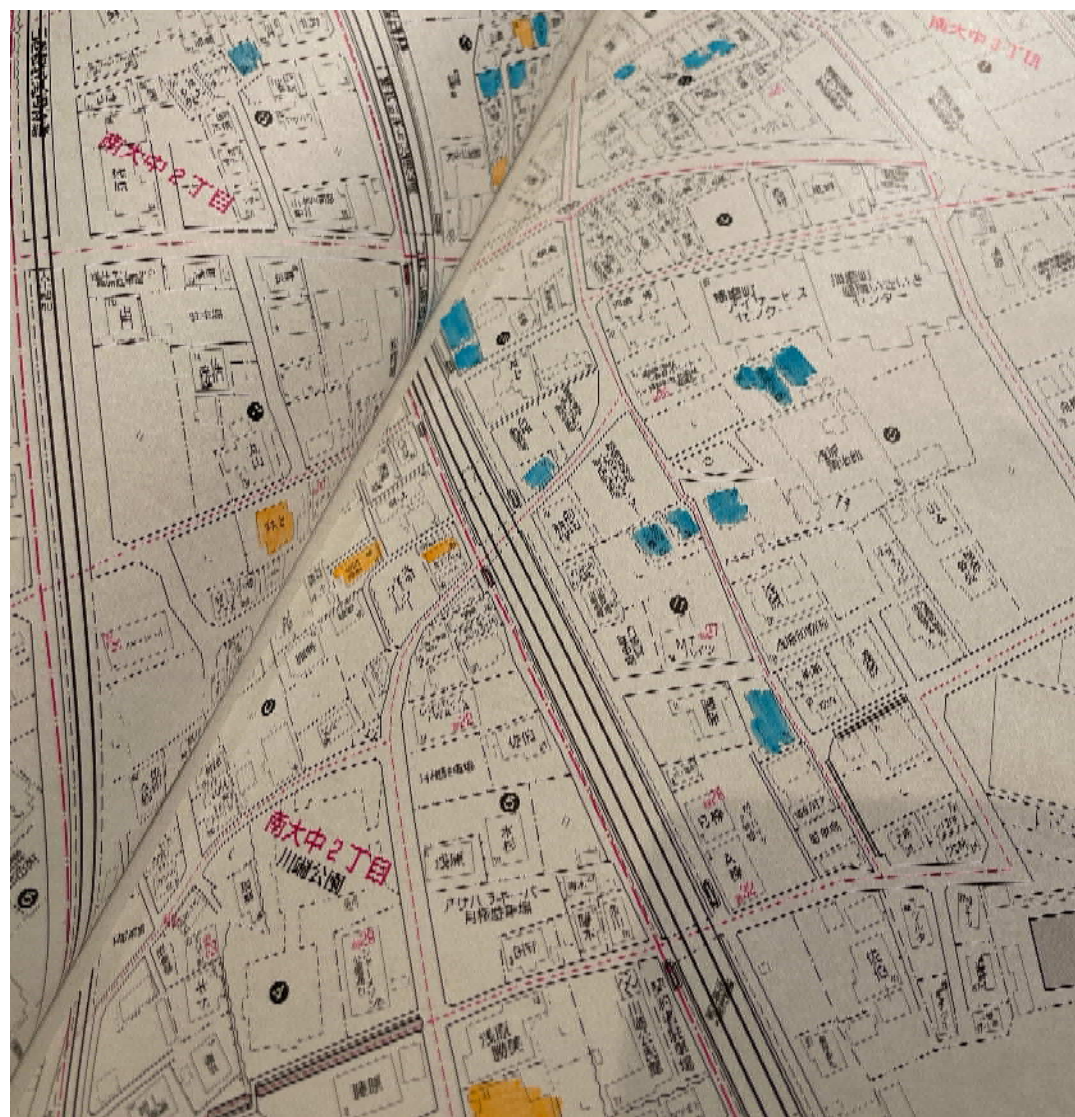
空き家: 116軒
空き家予備軍: 280軒

※行政資料では209軒であった

空き家116軒の登記簿から所有者の特性を把握した。
→町内在住者が約半数。その他は、町外かつ遠方であった。



▲空き家調査中の様子



空き家

空き家予備軍

※空き家予備軍: 外観調査から空き家に見えるが、確実に空き家といえないもの

ステップ③ 空き家相談所(仮)の開設

- ・毎週金曜日に空き家相談会を開催。
- ・地元宅建協会との連携も探る。
- ・相談会の開催は地元NPO法人に委託し、事業終了後も継続できることとした。
委託したNPO法人が古着、アップサイクルグッズ等を扱うチャリティーショップの立ち上げ準備を進めている。
- ・チャリティーショップの立ち上げ検討
専門家ヒアリングをしたところ、チャリティーショップを安定的に動かすためには商品を動かし続ける必要があり、協力店が複数必要であることがわかった。現在、協力店との調整中。

播磨町空き家相談会

空き家に関する質問に、専門の相談員がお答えします。

だれも相続する相手がいないんです

空き家の管理ってどうすればええん?

解体するカリフォルムかどっか決めたい

1月28日(金) 9時半~12時
2月4日(金) 9時半~12時

※相談は一人様45分程度を目安とさせていただきます。

※予約優先
☎080-6978-4181



▲空き家相談会のチラシ



▲空き家相談会の様子

▶成果

- ・市内の空き家、空き家予備軍が把握でき、所有者の特性を明らかにできた
- ・継続的に相談会を開催できた
- ・事業終了後も相談所運営を委託したNPO法人が定期的に相談会を行うこととなり、継続できる仕組みづくりを進められた

▶今後に向けて

チャリティーショップの開設をこれから進めることとなっており、資金循環の仕組みづくりを進める予定であり、現在、協力店との調整など仕入れ物販流通の仕組みづくりに取り掛かっている。また空き家調査の結果は行政と共有し、空き家バンクとの連携等を検討している。相談会は継続することとし、地元宅建協会と連携した取り組みにできるように調整を進めている。